【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成29年11月24日(2017.11.24)

【公開番号】特開2016-57841(P2016-57841A)
【公開日】平成28年4月21日(2016.4.21)
【年通号数】公開・登録公報2016-024
【出願番号】特願2014-183613(P2014-183613)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　17/50　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　17/50　　６６２Ｇ

【手続補正書】
【提出日】平成29年9月5日(2017.9.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
回路素子を所定の動作条件で動作させた第１の電気的特性値を取得し、
前記回路素子の動作中における基準値以上の電気的ストレスの印加が停止される期間に基づいて、前記第１の電気的特性値を補正する、回路シミュレーション方法。
【請求項２】
前記回路素子は、経時的に電気的特性が変化し、
前記第１の電気的特性値の補正は、
前記回路素子に前記電気的ストレスを印加後、前記電気的ストレスの印加が停止される期間に基づいて、前記第１の電気的特性値を回復させる、請求項１記載の回路シミュレーション方法。
【請求項３】
前記第１の電気的特性値は、前記回路素子に前記電気的ストレスを印加している期間の増加にともなって増加する中間パラメータ値を含み、
前記中間パラメータ値は、前記電気的ストレスの印加を停止する前記動作条件の下では、当該電気的ストレスの印加を停止している期間の増加にともなって減少するように設定されており、
前記第１の電気的特性値の補正は、前記中間パラメータ値にともなって補正するものである、請求項１記載の回路シミュレーション方法。
【請求項４】
回路素子を所定の動作条件で動作させた第一の電気的特性値を算出する第１の算出部を備え、
前記第１の算出部は、前記回路素子の動作中における基準値以上の電気的ストレスの印加が停止される期間に基づいて、前記第１の電気的特性値を補正する、回路シミュレーション装置。
【請求項５】
コンピュータ読み取り可能な記録媒体であって、
コンピュータに、回路素子を所定の動作条件で動作させた第１の電気的特性値を取得する手順、前記回路素子の動作中における基準値以上の電気的ストレスの印加が停止される期間に基づいて、前記第１の電気的特性値を補正する手順、を実行させるための、回路シ

ミュレーションプログラムが記録された、コンピュータ読み取り可能な記録媒体。